



令和7年産（6年播種）



麦類の生育概況 vol.4

埼玉県マスコット
「コバトン」

（令和7年3月6日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎気象概況：2月の月平均気温は平年並であった。降水量はかなり少なく、降水日数は1日のみで、日照時間はかなり多かった。
- ◎生育状況：12月上旬までに播種されたほ場では、おおむね必要な莖数を確保できているが12月中旬以降に播種されたほ場では莖数が少ない。11月中に播種されたほ場では莖立期は平年並と見込まれる。
- ◎今後取るべき技術対策
 - ・追 肥：麦種、品種と生育に合わせた追肥を実施する。「さとのそら」は必ず実施する。
 - ・排水対策：排水機能を保つよう排水溝の点検補修を行う。
 - ・雑草防除：雑草の種類と葉齢を確認し、処理適期を逃さないよう防除を行う。
 - ・病虫害防除：麦の生育に合わせた赤かび病防除計画を立て、適期に防除を行う。

1 気象の概況

2月の平均気温は、第1、3、6半旬が平年より高く、第2、5半旬は低く、第4半旬は平年並となり、月平均では平年より0.2℃高かった。降水量は第1半旬に合計5mmの降水があったほかは0.5mm以上の日はなく、月合計では平年比15%となった。日照時間は第1半旬が平年よりかなり少なく、第2、3、5半旬はかなり多く、第4、6半旬は多くなり、月合計では平年比122%となった。

2 生育の概況

（1）所内生育相

ア 小麦（「さとのそら」：11月25日播種）

1月下旬の高温により、それまで遅れていた生育が促進され、2月5日調査では草丈は平年（暖冬で推移した令和2～5年播種の4か年平均）比99%、莖数は平年比91%、葉位は平年差-0.1となった。その後は気温の変動が大きかったものの、2月25日調査では莖数は平年比99%、葉位は平年差-0.2とおおむね平年並であった一方、降雨がほとんど無かったことから草丈の伸長は停滞し、平年比84%と平年を下回っている。稈長は平年並（3.1mm）、幼穂長は0.8mmと平年（1.0mm）を下回っているが、幼穂分化ステージは平年並であり、2月27日気象庁発表の1か月予報では平年より平均気温が高い見込みのため、莖立期*はおおむね平年並と予想される。

* 莖立期は稈長が 2 cm になった時期をいい、「さとのそら」では偽莖長（地面から最上位の展開葉の葉節（葉耳部分）までの長さ）がおおよそ 7 cm の時が莖立期と判断できる。

イ 大麦（「ニューサチホゴールデン」：11 月 25 日播種）

前年は 2 月中旬に最高気温が 20℃ を上回る日があるなど、高温傾向であった。このため、本年値は前年と比較して、葉位は 0.8 枚程度少なく、草丈、莖数ともに大きく下回っている。2 月 25 日調査時点の稈長は 7.3 mm と前年（23.0 mm）を大きく下回り、莖立期は遅れている。幼穂分化ステージも莖立期同様に遅れ気味である。3 月が平年並の気温で推移した前年に対し、本年の平均気温は高い見込みと予報されていることから、出穂期はおおむね前年並と予想される。

（2）県内全般

2 月の平均気温は平年並であったが、近年の暖冬傾向の中では過去 10 年で 3 番目に寒かった。また、12 月以降少雨傾向が継続していることから、肥料吸収が遅れ、生育量、特に分けつの発生が遅れている。12 月上旬までに播種されたほ場では、おおむね必要な莖数を確保できているが、12 月中旬以降に播種されたほ場では莖数が少ない。

11 月に播種された大麦ほ場では莖立ちが始まっている。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

1 か月予報（気象庁：3 月 6 日発表）では、平均気温は高く降水量は平年並の見込みである。

3 か月予報（気象庁：2 月 25 日発表）では、4 月、5 月とも平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の見込みである。

（2）生育予測

11 月播種のほ場では莖立期、出穂期ともおおむね平年並と見込まれる。また、12 月中旬以降に播種されたほ場では、莖立期以降も分けつが発生するので、特に大麦では遅れ穂が多発すると予想される。

4 今後取るべき技術対策

（1）追肥

小麦は、「さとのそら」の追肥体系では出穂 2 週間前（平年 4 月上旬）に窒素成分で 3～4 kg/10 a を目安に施用する。ただし、莖立期後の機械散布が困難な場合は、莖立期直前に実施する。「あやひかり」では追肥の適期は過ぎていくが、肥切れ等で葉色が薄い場合には窒素成分で 1～2 kg/10 a を目安に施用する。

大麦では追肥の適期を過ぎていくが、肥切れ等で葉色の薄い場合には窒素成

分で1～2kg/10aを目安に施用する。

また、12月中旬以降に播種されて莖数が少ないほ場では、追肥は倒伏や遅れ穂の発生につながるため、追肥を見合わせるか施用量を5割程度減らして行う。

(2) 排水対策

莖立期以降のまとまった降雨は、根の機能を低下させ湿害を助長する。排水溝が埋もれていないか、外部の排水路としっかり連結されているか等を確認し、不備があれば速やかに補修する。

(3) 雑草防除

莖立期を過ぎると使用できる除草剤に限られるため、早めに雑草の種類と葉齢を確認し、処理適期を逃さないよう防除を行う。特に、カラスノエンドウ、カラスムギなど、子実が収穫物に混入する恐れのある雑草は確実に除草する。

(4) 病虫害防除

赤かび病の防除は必ず実施する。防除時期は下表を目安にする。

平年の出穂時期は、11月播種の小麦が4月中旬、大麦は3月末～4月上旬であり、12月播種はこれより数日～10日程度遅くなる。

昨年、赤かび病の発生が多かったことから、ほ場における赤かび病菌の密度が高いことと、莖数不足で葉色が濃いことから、赤かび病の感染リスクは高まっている。出穂期以降に昨年のような高温多湿傾向が続くと、赤かび病が多発する恐れがあることから、出穂状況をよく観察し、防除適期を逃さないよう、防除の準備を行う。

※赤かび病防除の目安

小麦	<ul style="list-style-type: none">出穂から7～10日後を目安に開花初めを確認し、直ちに薬剤を散布。その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。
ビール麦 (二条大麦)	<ul style="list-style-type: none">穂揃期の10日後に薬剤を散布。
六条大麦	<ul style="list-style-type: none">穂揃期に薬剤を必ず散布。その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。

解析・考察に用いた具体的数字

1. 2月の気象表

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	5.2	4.4	9.5	10.0	1.5	-0.4	5.0	5.4	24.1	36.5	
2	3.3	4.6	9.4	10.2	-2.2	-0.2	0.0	4.7	49.1	36.0	
3	5.7	4.9	11.4	10.6	0.3	0.1	0.0	6.3	49.5	35.5	
4	5.8	5.4	12.1	11.0	0.9	0.5	0.0	7.0	46.2	35.0	
5	4.3	5.9	10.5	11.5	-1.1	1.0	0.0	7.3	46.6	34.4	
6	9.1	6.4	17.0	12.0	1.8	1.5	0.0	5.1	28.2	19.9	
平均	5.3	5.1	11.3	10.8	0.1	0.3	合計	5.0	32.3	243.7	199.8

注.半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

平年値は1991～2020年の気象台値。

2. 生育状況

品種名	調査日	草丈(cm)		茎数(本/株)		葉位(L)		風乾重(g/100本)		風乾歩合(%)	
		本年	平年比 前年比	本年	平年比 前年比	本年	平年差 前年差	本年	平年比 前年比	本年	平年差 前年差
さとのそら	2月5日	10.5	99	4.0	91	4.7	-0.1	10.6	77	21.8	-1.3
	2月14日	11.0	91	5.3	81	5.3	-0.4	17.8	79	22.6	3.0
	2月25日	13.0	84	8.6	99	6.5	-0.2	31.9	83	21.8	6.0
ニューサチホゴールド	2月5日	13.4	87	7.4	74	5.4	-0.6	25.2	61	15.0	-0.6
	2月14日	14.1	73	8.4	64	5.7	-1.0	34.9	48	17.3	2.7
	2月25日	18.7	60	12.9	86	7.1	-0.8	80.2	62	16.6	6.3

注1.さとのそらは平年値(暖冬であった令和2～5年播種の4か年平均)、ニューサチホゴールドは前年値との比較(以下同様)。

注2.風乾重は100個体当たりグラム、風乾歩合は風乾重/生体重。

注3.平年比、前年比は%(以下同様)。

3. 幼穂分化

品種名	調査日	稈長(mm)			幼穂長(mm)			幼穂分化ステージ	
		本年	平年 前年	平年比 前年比	本年	平年 前年	平年比 前年比	本年	平年 前年
さとのそら	2月25日	3.1	3.1	100	0.8	1.0	81	VII前～後	VII前～後
ニューサチホゴールド	2月25日	7.3	23.0	32	3.0	5.0	59	IX後～X	X

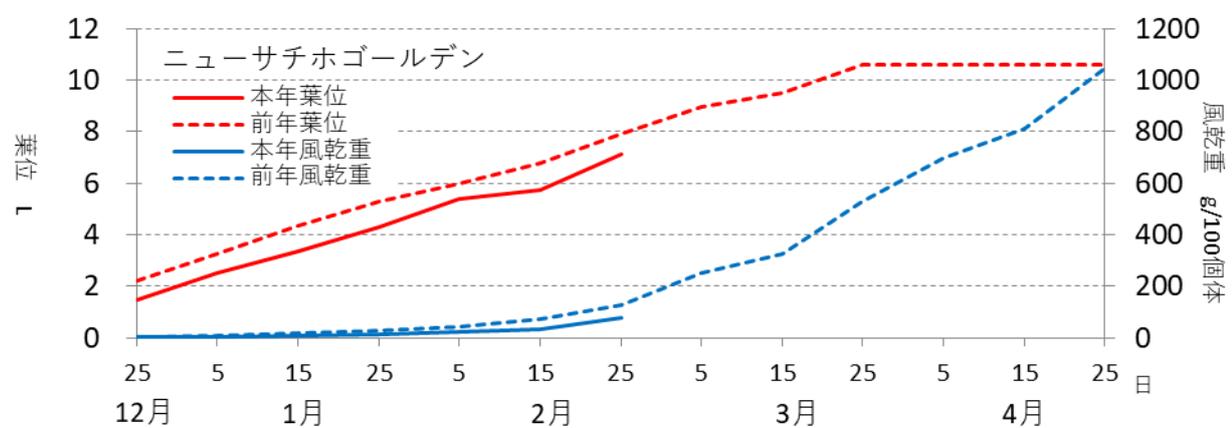
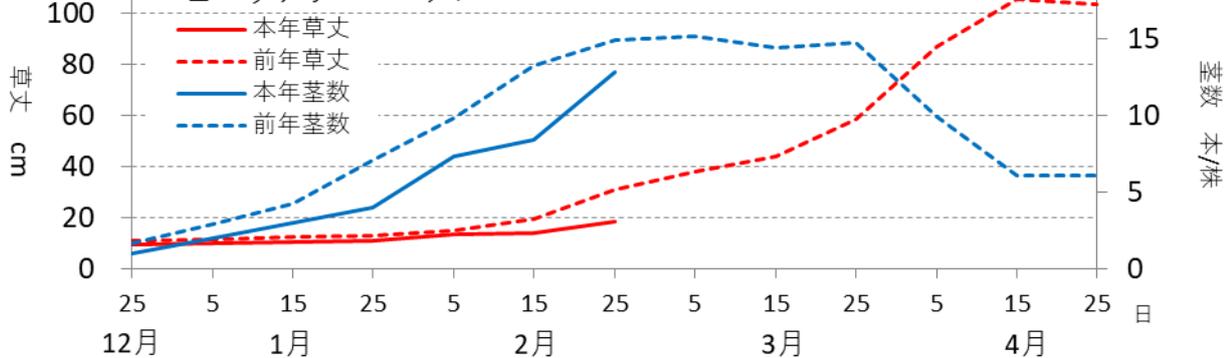
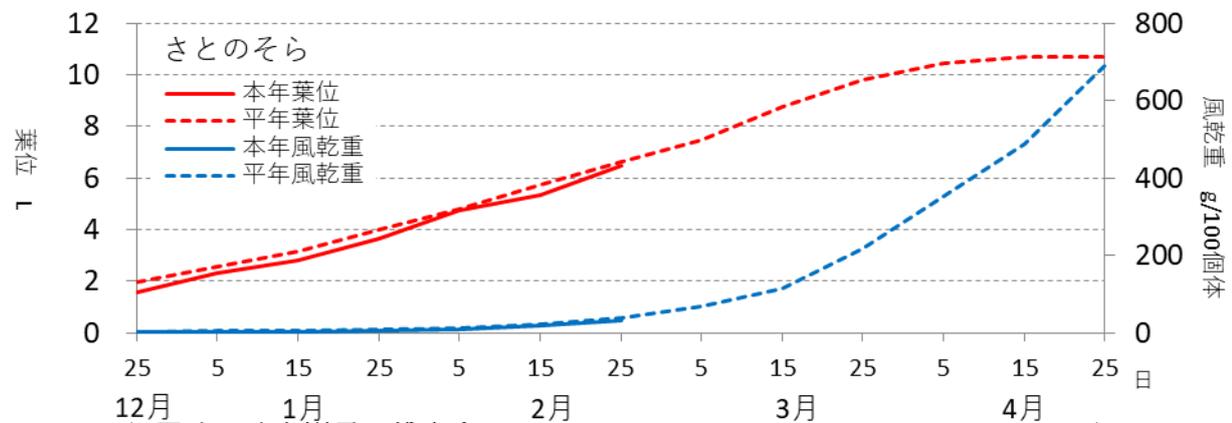
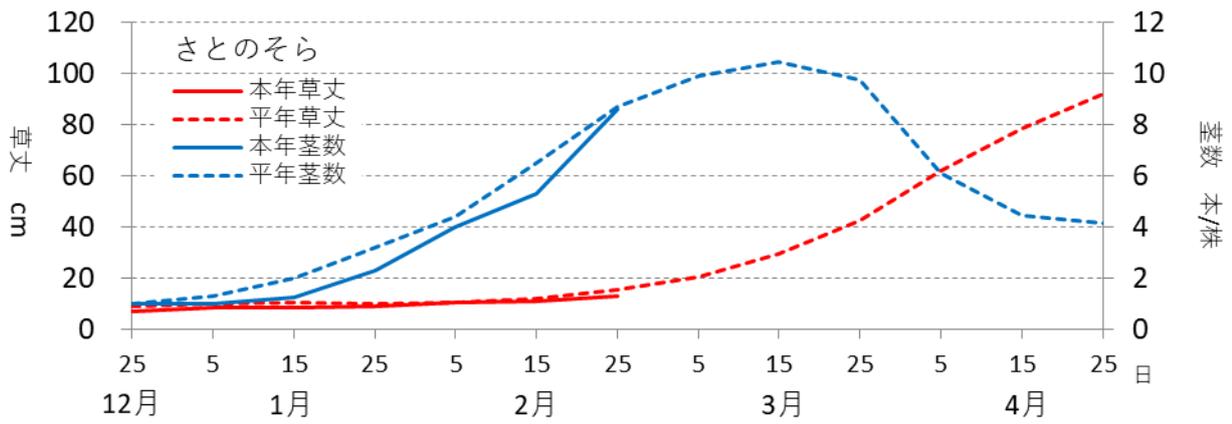
4. 茎立期

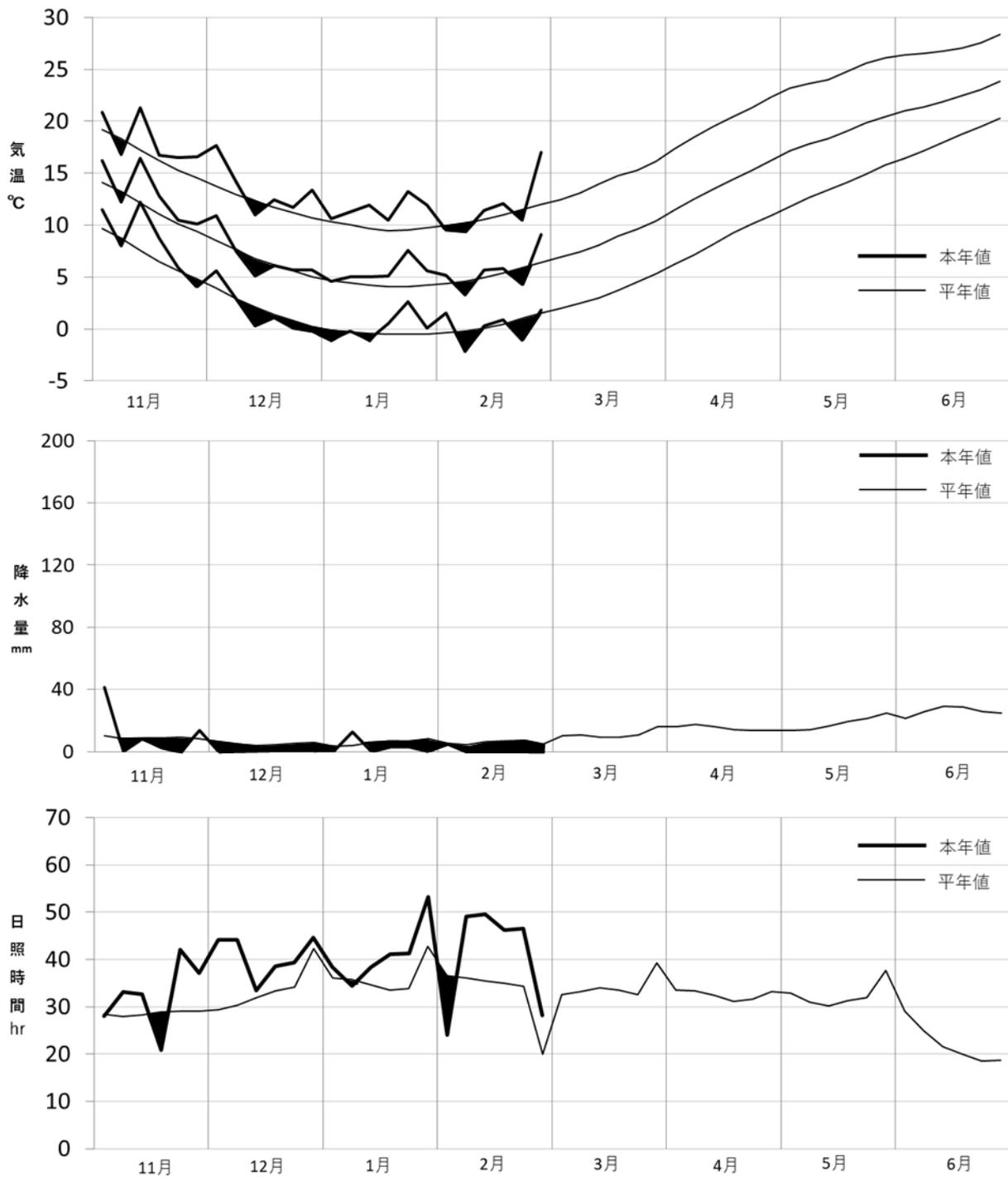
品種名	茎立期		
	本年	平年 前年	平年差 前年差
さとのそら	-	3/14	-
ニューサチホゴールド	-	2/27	-

参考.出穂期の平年値/前年値

品種名	出穂期
さとのそら	4月10日
ニューサチホゴールド	4月4日

5. 生育経過（11月25日播種）





令和6年播（7年産）冬作期間気象図
 （熊谷地方気象台日別データより作成）